

発展会計 マッピング機能マニュアル

日本ビズアップ株式会社

1. マッピング機能概要

2. 事前設定

2-1. 事前設定

2-2. 各画面の説明

2-3. 税区分の設定

2-4. 複合仕訳・連結項目の設定

3. ご利用の流れ

3-1. データ取込

3-2. 取込データの確認

1 マッピング機能概要

発展会計には、標準機能としてマッピング機能を搭載しております。

現代のビジネスでは、複数のデータシステムを利用し、それぞれを連携してデータ活用を行うのが一般的です。しかし、異なるシステム間では、データフォーマットやデータの構造などが異なります。

そこで重要となるのが、データマッピングです。データマッピングでは、フィールド（科目CDや金額、適用等）の対応付けやデータフォーマットの変換、データの結合・分割を行います。

これらのプロセスにより、システム間の違いを越えたデータ統合ができるため、データの価値を最大限に引き出したデータ活用が行える機能となっております。



2-1 事前設定

企業登録

企業登録画面のオプション利用欄で「データマッピング」のチェックが必要です（オプション欄にございますが無料でご利用頂けます）

ID	AAQ1	1156	
ID	AAQ1	1156	
顧客コード			
正式名称	テスト企業	識別文字列	
略称	テスト企業	同時接続数	一般用 3 ≤ 7 (999 - 239)
カナ検索		拠点	社福・公益 ≤ 32 (350 - 318)
郵便番号	〒		記帳代行 ≤ 823 (900 - 77)
都道府県			期間限定 ≤ 898 (900 - 2)
市区町村			公営企業 ≤ 112 (150 - 38)
番地			ストレージのみ ≤ 883 (900 - 17)
ビル名		法人区分	<input checked="" type="radio"/> 法人 <input type="radio"/> 個人
電話番号 1		業種	対象外
FAX		グループ企業	<input type="checkbox"/> グループ企業とする
代表者		共通SCARUがイネー	

オプション利用	
<input type="checkbox"/> 支払管理	≤ 29761 (30000 - 239)
<input checked="" type="checkbox"/> BANK	≤ 29574 (30000 - 426)
<input checked="" type="checkbox"/> SCARU連携	≤ 28892 (30000 - 11...)
<input checked="" type="checkbox"/> AI-BANK	≤ 29692 (30000 - 308)
<input checked="" type="checkbox"/> MONEY	≤ 29713 (30000 - 287)
<input type="checkbox"/> 自動定期仕入	≤ 29886 (30000 - 114)
<input checked="" type="checkbox"/> データマッピング	≤ 29847 (30000 - 153)
<input type="checkbox"/> 承認機能	≤ 29821 (30000 - 179)
<input checked="" type="checkbox"/> WebAPI	≤ 29816 (30000 - 184)
<input checked="" type="checkbox"/> AI-MONEY	≤ 29884 (30000 - 116)
<input checked="" type="checkbox"/> 請求書発行	≤ 29856 (30000 - 144)
<input type="checkbox"/> 建設業会計	≤ 29933 (30000 - 67)
<input checked="" type="checkbox"/> ストレージ	≤ 28851 (30000 - 11...)
<input checked="" type="checkbox"/> 自動監査	≤ 29743 (30000 - 257)
<input checked="" type="checkbox"/> 年度計画	≤ 29874 (30000 - 126)
<input type="checkbox"/> デジタル印機	≤ 29975 (30000 - 25)

仕訳データ取込

2021年1~12月

データ形式

標準形式

ユーザーデータ形式編集

オプション利用欄にて、データマッピングにを入れると、
F7-3 仕訳データ取込画面のユーザーデータ形式編集より、設定を行うことができます

2-2 各画面の説明

ユーザーデータ形式編集 2021年1~12月

① ユーザーデータ形式 表示

② 項目名称取込 参照 表示

No.	項目名称	取込項目	連結項目
1	仕訳No.	<未使用>	
2	仕訳区分	<未使用>	
3	仕訳データ作成日 (yyyy/mm/dd)	伝票日付 (年月日)	
4	仕訳データ作成時刻	<未使用>	
5	備考 (仕訳データ)	<未使用>	
6	計上日 (yyyy/mm/dd)	<未使用>	
7	借方: 勘定科目ID	(借方) 勘定科目コード	
8	借方: 勘定科目名	<未使用>	
9	借方: 補助科目ID	(借方) 補助科目コード	
10	借方: 補助科目名	<未使用>	
11	借方: 補助科目会計連携コード1	<未使用>	
12	借方: 補助科目会計連携コード2	<未使用>	
13	借方: 補助科目会計連携コード3	<未使用>	
14	借方: 補助科目会計連携コード4	<未使用>	
15	借方: 補助科目会計連携コード5	<未使用>	
16	借方: 計上部門ID	(借方) 部門コード	
17	借方: 計上部門名	<未使用>	
18	借方: 税区分ID	(借方) 税種別	
19	借方: 税区分名	<未使用>	
20	借方: 税計算区分	<未使用>	
21	借方: 税率	(借方) 消費税率 (%)	
22	借方: 金額	(借方) 金額 (入力)	

③ ④

⑤ 項目移動
↑上へ
↓下へ

⑥ コード変換
勘定科目CD変換
補助科目CD変換
部門CD変換
税種別CD変換
内・外・別記変換
税区分CD変換
データ区分変換

- ①ユーザーデータ形式 (取込フォーマットの形式を作成)
- ②項目名称取込 (取込元ファイルの項目名称取込)
- ③項目名称 (②の取込元ファイルの項目名称が表示。手入力も可能)
- ④取込項目 (対応する仕訳項目を選択)
- ⑤項目移動 (取込元の項目名称を上下に移動)
- ⑥コード変換 (取込ファイルのマスタコードを変換する場合に設定)

2-2 各画面の説明

ユーザーデータ形式登録 2021年1～12月

表示

名称
jinjer経費
〇〇会計

↑

ユーザーデータ形式 jinjer経費 表示

F1 ヘルプ F2 行挿入

項目名称取込

参照 表示

ユーザーデータ形式登録で取込形式の名称を設定

本画面で設定した名称は、仕訳データ取込画面のデータ形式に追加され、プルダウンによる選択で、各名称ごとに設定を登録することができます

2-2 各画面の説明

項目名称取込

C:\¥Users¥tahir¥OneDrive¥デスクトップ¥Jinjer.csv

参照

表示

取り込みを行いたいCSVデータを参照より選択し、表示をクリック

No.	項目名称	取込項目
1	仕訳No.	<未使用>
2	仕訳区分	<未使用>
3	仕訳データ作成日(yyyy/mm/dd)	伝票日付(年月日)
4	仕訳データ作成時刻	<未使用>
5	備考(仕訳データ)	<未使用>
6	計上日(yyyy/mm/dd)	<未使用>
7	借方:勘定科目ID	(借方)勘定科目コード
8	借方:勘定科目名	<未使用>
9	借方:補助科目ID	(借方)補助科目コード
10	借方:補助科目名	<未使用>
11	借方:補助科目会計連携コード1	<未使用>
12	借方:補助科目会計連携コード2	<未使用>
13	借方:補助科目会計連携コード3	<未使用>
14	借方:補助科目会計連携コード4	<未使用>
15	借方:補助科目会計連携コード5	<未使用>
16	借方:計上部門ID	(借方)部門コード
17	借方:計上部門名	<未使用>
18	借方:税区分ID	(借方)税種別
19	借方:税区分名	<未使用>
20	借方:税計算区分	<未使用>
21	借方:税率	(借方)消費税率(%)
22	借方:金額	(借方)金額(入力)

必須項目

伝票日付

(借方)勘定科目コード^s

(借方)金額(入力)

(貸方)勘定科目コード^s

(貸方)金額(入力)

金額(入力)

表示された取込データが、項目名称として表示されますので、
発展会計の取込項目と紐づけ作業を行うことで、データを加工せずに取込が可能

2-2 各画面の説明

No.	変換元コード	勘定科目
1	2103	未払金
2	1004	普通預金
3		普通預金/ビズア[1115]
4		有価証券[1125]
5		期末棚卸高[5311]
6		期首棚卸高[5111]
7		未収入金[1154]
8		未払法人税等[2125]
9		未払消費税等[8312]
10		未払費用[2115]
...		

コード変換

- 勘定科目CD変換
- 補助科目CD変換
- 部門CD変換
- 税種別CD変換
- 内・外・別記変換
- 税区分CD変換
- データ区分変換

コード変換では、発展会計上に変換元コードと発展会計上のコードを、紐づけることで、取込を行った際に、自動で変換する機能となっております

上記例の場合、吐き出したCSVデータ上では、普通預金(1004)で処理をしているが、発展会計上では、普通預金/ビズア(1115)で処理をしている勘定科目CD変換設定。補助CD・部門CD・税種別CD等も、同様の処理をすることで変換が行えます。

2-3 税区分の設定

■ 消費税に関する取込項目

- ・ 税種別
- ・ 消費税率 (%)
- ・ 内外別記
- ・ 税区分
- ・ 消費税額
- ・ 事業区分

■ 税区分の設定 (貸方省略)

パターンは4つあります。取込データにあわせて設定してください。

項目名称... 参照 表示

No.	項目名称	取込項目
1	伝票番号	伝票NO
2	年月日	伝票日付 (年月日)
3	借方: 勘定科目ID	(借方) 勘定科目コード
4	借方: 勘定科目名	<未使用>
5	借方: 税区分ID	(借方) 税種別
6	借方: 税計算区分	(借方) 内・外・別記
7	借方: 税率	(借方) 消費税率(%)
8	借方: 税区分名	(借方) 税区分
9	借方: 事業区分	(借方) 事業区分
10	借方: 金額	(借方) 金額 (入力)
11	借方: 税額	(借方) 消費税額

税区分コード変換登録

ユーザーデータ形式 表示

変換マスタ取込 参照 表示

No.	変換元コード	税区分
1	71	仕課内10
2	課仕内10区分80	免80仕課内10

パターン①: 税種別を「1」に設定して取込

パターン②: 税種別・消費税率・内外
3つを設定して取込

パターン③: 税区分に税区分マスタの
「略称」を設定して取込

パターン④: コード変換登録を設定して取込
(例: 税区分コード)

2-3 税区分の設定

・パターン① 税種別を「1」に設定して取込

下記の場合、勘定科目コード「4416」の科目マスタで設定されている税区分が適用されます。

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
項目名称	伝票番号	年月日	借方: 勘定科目ID	借方: 勘定科目名	借方: 税区分ID	借方: 税計算区分	借方: 税率	借方: 税区分名	借方: 事業区分	借方: 金額	借方: 税額
①	912	2023/10/30	4416	交通費	1					220	

・パターン②: 税種別・消費税率・内外3つを設定して取込

標準形式: K・M・N列の設定に従って取り込まれます。3つ全てを設定する必要があります。下記の場合、「課税売上対応課税仕入内税10%免税(免80仕課内10)」が適用されます。

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
項目名称	伝票番号	年月日	借方: 勘定科目ID	借方: 勘定科目名	借方: 税区分ID	借方: 税計算区分	借方: 税率	借方: 税区分名	借方: 事業区分	借方: 金額	借方: 税額
②	920	2023/10/30	4416	交通費	50	1	10#			220	

2-3 税区分の設定

・パターン③: 税区分に税区分マスタの「略称」を設定して取込

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
項目名称	伝票番号	年月日	借方: 勘定科目ID	借方: 勘定科目名	借方: 税区分ID	借方: 税計算区分	借方: 税率	借方: 税区分名	借方: 事業区分	借方: 金額	借方: 税額
③	922	2023/10/30	4416	交通費				軽仕課内8		220	

・パターン④: コード変換登録を設定して取込(例: 税区分コード)

取込データの内容を変換元コードに入力して、変換したい税区分に設定します。
変換元コードは数字でも文字でも登録可能です

※簡易課税の場合は、標準形式:L列にあわせて事業区分を設定してください。

税区分コード変換登録

ユーザーデータ形式

表示

変換マスタ取込

参照

表示

No.	変換元コード	税区分
1	71	仕課内10
2	課仕内10区分80	免80仕課内10
3		

2-3 税区分の設定

<標準形式資料> [仕訳データ取込 \[HELP\] \(bizup.jp\)](#)

税区分の設定について

データ取込時に設定する税区分は、作成データのK列「税種別」、L列「事業区分」、M列「消費税率」、N列「内・外・別記」の組み合わせにより決定します。

・税種別一覧表（K列に記載）

税区分名称	税種別	事業区分	税率	内/外/別記	貸借区分
科目マスタの設定に従う	1	-	-	-	貸
課税売上	10	○	○	○	貸
課税売上返還	11	○	○	○	借
課税売上貸倒	12	-	○	○ (内のみ)	借
課税売上貸倒回収	13	-	○	○ (内のみ)	貸
非課税売上	14	-	-	-	(貸)
輸出売上	20	-	-	-	(貸)
非課税輸出売上	24	-	-	-	(貸)
有価証券の譲渡	34	-	-	-	(貸)
課税売上対応課税仕入	50	-	○	○	借
共通対応課税仕入	60	-	○	○	借
非課税売上対応課税仕入	70	-	○	○	借
課税売上対応課税仕入返還	51	-	○	○	貸
共通対応課税仕入返還	61	-	○	○	貸
非課税売上対応課税仕入返還	71	-	○	○	貸
課税売上対応課税貨物	52	-	○	○	借
共通対応課税貨物	62	-	○	○	借
非課税売上対応課税貨物	72	-	○	○	借
特定課税仕入	53	-	○	○	借
共通特定課税仕入	63	-	○	○	借
非課税特定課税仕入	73	-	○	○	借
特定課税仕入返還	55	-	○	○	貸
共通特定課税仕入返還	65	-	○	○	貸
非課税特定課税仕入返還	75	-	○	○	貸
非課税仕入	54	-	○	○	借
売上対象外	96	-	-	-	-
仕入対象外	97	-	-	-	-
対象外（不課税）	98	-	-	-	-
不明	99	-	-	-	-

税区分の設定について

・事業区分一覧表（L列に記載）
簡易課税業者のみ、それ以外は空欄で可

0または""	なし
1	業種1
2	業種2
3	業種3
4	業種4
5	業種5

・税率一覧表（M列に記載）

0または""	なし
3	3%
5	5%
8	8%
8*	軽減8%
8*# または 8#*	軽減8%免税
10	10%
10#	10%免税

・内税/外税/別記（N列に記載）

内税：税込の金額を入力して、税額を未入力にすると、消費税金額を自動計算する。

税額を入力した場合は、入力した金額をそのまま税額として取り込む。

外税：税抜の金額を入力し、消費税金額も修正することが出来る。

別記：仕訳の別行として、仮払・仮受消費税で仕訳を起し消費税額分を記入する。

0または""	なし
1	内税
2	外税
3	別記

例①

エクセルの列名	K	L	M	N
項目名	税種別	事業区分	税率	内/外/別
コード	10		8*	1

上記のように記入した場合、「軽減課税売上内税8%（軽売内8）」の税区分が適用されます。

例②

エクセルの列名	K	L	M	N
項目名	税種別	事業区分	税率	内/外/別
コード	11	3	10	2

上記のように記入した場合、「事業区分3用課税売上返還外税10%（3売別外10）」の税区分が適用されます。

2-4 複合仕訳・連結項目の設定

No.	1	2	3	4	5	6	7	8
項目名称	伝票	年月日	借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要備考1	摘要備考2
	10	2023/10/30	預金	3,000	預り金A	2,000	複合仕訳	テスト1
	10	2023/10/30			預り金A	1,000	複合仕訳	テスト2
	10	2023/10/30	現金	3,000	預り金A	3,000	連結項目	テスト3

伝票NOを同じにすれば複合仕訳の取込が可能です。

連結項目に登録すると対象No内容が連結されます。
例では、7列の後ろに8列を連結する設定となります。

No.	項目名称	取込項目	連結項目
1	伝票	伝票NO	
2	年月日	伝票日付(年月日)	
3	借方勘定科目	(借方)勘定科目コード	
4	借方金額	(借方)金額(入力)	
5	貸方勘定科目	(貸方)勘定科目コード	
6	貸方金額	(貸方)金額(入力)	
7	摘要備考1	摘要	8
8	摘要備考2	<未使用>	

勘定科目コード変換登録

No.	変換元コード	勘定科目
1	預金	普通預金
2	現金	小口現金
3	預り金A	預り金

2023/10/30	1004 普通預金		3,000	2110 預り金		2,000
1809						
				複合仕訳テスト1		
				2110 預り金		1,000
				複合仕訳テスト2		
	1010 小口現金		9999 その他	3,000	2110 預り金	3,000
				連結項目テスト3		

3-1 データ取込

ユーザーデータ形式編集

2021年1～12月

ユーザーデータ形式

jinjer経費

jinjer経費

〇〇会計

表示

項目名称取込

参照

表示

ユーザーデータ形式編集より、作成した項目が F7-3 仕訳データ取込から選択できます

仕訳データ取込

2021年1～12月

データ形式

jinjer経費

標準形式

期間指定標準(税区分)形式

ACELINK 会計大将

ACELINK NX-Pro 会計大将

弥生会計

FamilyMart形式

財務応援 Lite

入力可能 CASH RADAR PBS 仕訳日記帳

存在しない jinjer経費

ユーザーデータ形式編集

(科目・補助科目・部門・取引先)

3-1 データ取込

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T		
1	仕訳No.	仕訳区分	仕訳データ作成日(y)	仕訳データ備考(仕訳)	計上日(yyyy/)	借方	勘定借方	勘定借方	補助借方	補助借方	補助借方	補助借方	補助借方	補助借方	補助借方	補助借方	計上借方	計上借方	税区借方	税区借方	借方	税区
2	903	支払仕訳	2021/8/23	16:51:25	2021/8/31	2103	交通費												1	対象外	非課税	
3	901	支払仕訳	2021/8/16	7:59:28	2021/8/31	2103	交通費												1	対象外	非課税	
4	922	支払仕訳	2021/8/26	14:33:20	2021/9/30	2103	交通費												1	対象外	非課税	
5	891	支払仕訳	2021/8/2	16:35:13	2021/8/31	2103	交通費												1	対象外	非課税	
6	896	支払仕訳	2021/8/24	15:41:44	2021/8/16	2103	交通費												1	対象外	非課税	
7	898	支払仕訳	2021/8/16	15:36:14	2021/8/17	2103	交通費												1	対象外	非課税	
8	890	支払仕訳	2021/8/2	19:07:00	2021/8/31	2103	交通費												1	対象外	非課税	
9	891	支払仕訳	2021/8/2	18:24:48	2021/8/2	2103	交通費												1	対象外	非課税	

取込ファイル指定 (csvファイルまたはtxtファイル、ドラッグアンドドロップ可能)

C:¥Users¥tahir¥OneDrive¥デスクトップ¥Jinjer.csv

取込ファイルの先頭行を無視する

取込後、取込ファイルを削除する

文字コード

標準文字コード (MS932)

参照

お客様PCの通信状態により、仕訳データが2重取込になる可能性があります。
処理に3分以上かかった場合、『取込仕訳データ取消』メニューで取込結果をご確認ください。

F6
結果表示

F8
実行



処理を開始します。よろしいですか？ [183]

OK

キャンセル

ヘルプ

参照より、取込データの指定を行い、F8実行、OK をクリックで取込完了となります

3-2 取込データの確認



F1-1 仕訳入力

仕訳伝票入力 ▶

仕訳入力(単一) ▶

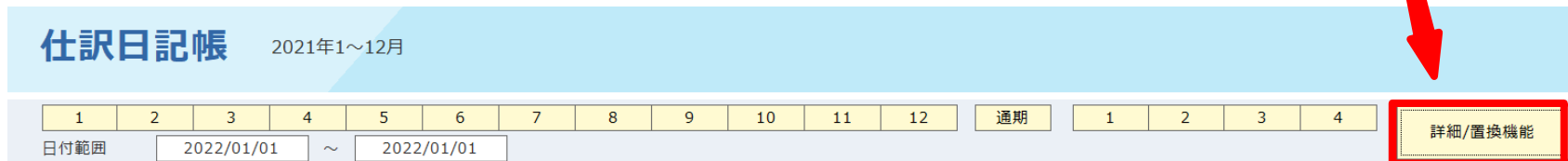
仕訳入力(単一2) ▶

F1-2 入力チェック

仕訳日記帳 ▶

仕訳日記帳(画面)/置換機能 ▶

仕訳チェックリスト ▶



F1-2 仕訳日記帳 (画面) /置換機能 から 詳細/置換機能 を選択

3-2 取込データの確認

詳細検索条件では、
条件を選択することで、
仕訳の抽出ができます

入力元画面に☑を入れ、
マッピング取込を選択

条件選択後、
F5 検索開始

F5
検索開始

仕訳日記帳 2021年1~12月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	通期	1	2	3	4	詳細/置換機能	表示	伝票日付帳	行戻▲	行戻▼		
日付範囲												2021/01/01		~		2021/12/31							
日付	伝票番号	借方科目	取引先	補助科目	部門	借方金額	消費税	貸方科目	取引先	補助科目	部門	貸方金額	消費税										
2021/06/04	436	交通費			カフェ元町 仕課内10	198	(18)	普通預金	その他				198										
2021/06/04	437	交通費			中州店 仕課内10	220	(20)	普通預金	その他				220										
2021/06/04	441	交通費			大宮経理 仕課内10	13,870	(1,260)	普通預金	その他				13,870										
2021/06/04	442	事務用消耗品費			共通 仕課内10	50,000	(4,545)	普通預金	その他				50,000										
2021/06/04	448	事務用消耗品費			共通 仕課内10	100	(9)	普通預金	その他				100										

以上の流れでマッピングにより取り込んだ仕訳のみを抽出ができ、
伝票番号をクリックすることで、修正を行うこともできます